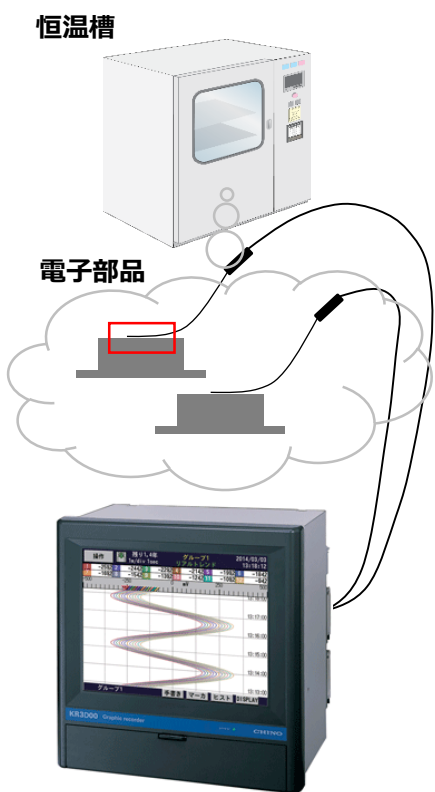


# AEC試験の運用を支援！ 電子部品の温度計測のご案内

AEC規格の信頼性適合試験などで、電子部品の実温度計測に極細シース熱電対を使用してみませんか？  
運用に便利な機能の付いた、IATF支援用レコーダとの組み合わせがお勧めです。

高温高湿負荷（バイアス）試験など 運用例：恒温槽での性能試験（電子部品の発熱）



恒温槽

電子部品

極細シース熱電対  
Φ0.15/Φ0.3mm

- ・小径での電子部品への熱負荷軽減
- ・シース構造での絶縁性向上
- ・耐熱400℃

極細シース熱電対なら！

電子部品に直接付けて、発熱などの状況をより正確に測定することが期待できます。

\* 熱電対の抵抗値や取扱いにおける注意が必要な場合があるため、詳細は弊社営業担当者へお問い合わせ下さい。

IATF運用支援 記録計 KR

センサへの  
便利な機能

補正機能

- ・入力チャンネルごとの補正入力が可能
- ・温度センサの成績書を基に温度域ごとの補正入力が可能

管理機能

- ・熱電対の使用時間が管理可能

耐久性

- ・入力チャンネル間耐電圧1000VACでの安定記録

AEC-Q series

AEC-Q seriesは、車載電子部品評議会（Automotive Electronics Council）において自動車に適用される電子部品に対する信頼性評価の要求事項です。世界の自動車メーカーのOEM車で通用します。

IATF16949の運用も支援しています！

IATF16949は自動車産業に特化した品質マネジメントシステムに関する国際規格で、世界の多くの自動車メーカーが、自動車部品のグローバルな調達基準として採用しています。

# チノーはJCSS認定業者！ 信頼性のおける計測データのために校正管理を

国際相互承認プログラム (MRA) により  
国外でも有効なJCSS校正証明書

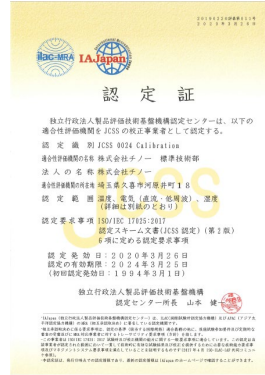


**JCSS**  
JCSS 0024

株式会社チノー標準技術部は、認定基準として  
ISO/IEC17025 を用い、認定スキームを ISO/IEC17011 に  
従って運営されているJCSS (計量法校正事業者登録制度) の下で  
認定されています。

JCSS の認定機関である IAJapan は、アジア太平洋認定協力機構 (APAC) 及び  
国際試験所認定協力機構 (ILAC) の相互承認に署名しています。

0024は当社標準技術部の登録番号です。



引き取り校正

現地校正



現場にお伺いして  
点検・校正サービスを実施できます

恒温槽分布測定用センサ+レコーダを  
組み合わせでJCSS校正

日常的なチェックに

データの信頼性担保に役立ちます  
小形校正装置KT-H504をご用意

- ・定期管理
- ・測定前のチェック



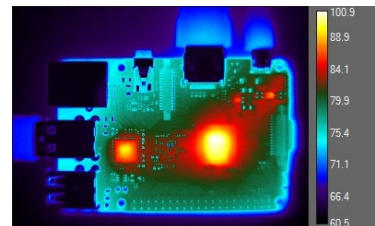
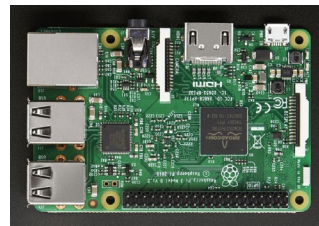
KT-H504

## 計測中の温度分布をサーモグラフィ画像で

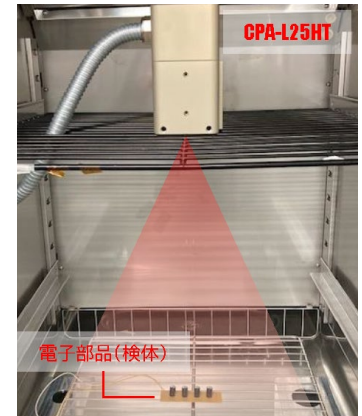
耐熱形熱画像計測装置 CPA-L25HT



恒温槽内の温度分布、各部品の温度分布・変化を  
サーモグラフィ画像で視覚的に分かりやすく見ることが  
できるようになります。



恒温槽内設置例



**CHINO**

株式会社チノー

コールセンター お客様相談室

☎ 0120 - 41 - 2070

お問い合わせフォーム <https://www.chino.co.jp/form/form/form.cgi>

※この資料の掲載内容は 2021 年6 月 現在のものです。